

第4回グリ下会議 議事要旨（公開用）

R5.12.14（木）11:00～12:00 中央区役所 7 階 703・704 会議室

冒頭、事務局より議事公開範囲の確認とオブザーバー参加者の報告を行い、座長あいさつ。

【議題1】これまでの議論をふまえた論点整理

事務局より資料1説明

（意見・質問）

- ・ 論点整理にあたり、次の2点も課題認識しておいてほしい。

（1）昨年と比べ、最近ODが広がり状況が悪化している。中高生に薬を流す大人がいる。

（2）パパ活により中高生年代から売春で金銭を得る事を覚えると、就労の機会につながらない。

（南警察）警察としても認識しており、捜査内容はこの場でお伝えできるものではないが、対策や取組を行っている。

（座長）ODに関しては東京で逮捕者が出たと聞いており、大阪でも懸念材料と考えている。関係機関の連携と情報提供をよろしくお願いしたい。

- ・ ミッション案①アウトリーチに記載のある「行政機関によるアウトリーチ」は、スケジュール感等の具体的な事は何か決まっているのか？

（事務局）関係する構成員に対して事前に行ったアンケート・ヒアリングの内容もふまえながら、議題2で議論していきたい。

【議題2】今後の方向性に関する提案等

D×Pより提出資料（非公開・任意提供情報）に沿って説明。

（意見・質問）

（大阪市福祉局）中央区の生活困窮者相談支援窓口では既にD×Pと連携したアウトリーチ支援を開始しており実例もある。就労支援などについて、窓口によるアウトリーチの際に相談者から希望があれば、就労支援などの事業者によるアウトリーチが可能な場合はある。

（大阪府子ども家庭局）少年サポートセンターは警察等の依頼による支援がベースの組織。

（大阪府中央子ども相談センター）区役所や家庭等での相談も行っている。ただし本人より周囲の意向が強い場合等、逆効果になることも考えられる。

（座長）支援団体拠点へ出張相談については持ち帰り検討してほしい。支援団体拠点の開所時間帯ではない日中での面談、webを活用した面談等も検討していただければ。

- ・ グリ下に集まる子が増えているという現場感覚の情報は正直ショックな部分でもある。ただ一方でグリ下への取組を「強化」するのは違和感があり、集まってくる事になってしまうのではないかと思う。直接行政や支援団体へアクセスできる仕組が理想だと思う。
- ・ パパ活を行う理由として「帰る場所が無い」という事は切実な問題と認識しており、制度上のハードルはあるがシェルターの必要性は大きいと感じており、発信し動いていく事は必要。
- ・ TikTok や各種 SNS の影響でグリ下に来る子は肌感覚で増えている。流入予防していくにあたり、既に来ている子へのアウトリーチ段階でなぜグリ下に来たのかを個人情報を除いた抽象的データにして共有できればと思う。現場レベルで取り組んでいく事は可能である。

- ・グリ下に来ている子はそもそも支援を求めている。困っていると思っていなくて、楽しい事を求めてやってきている。困っている事に目を背けているという部分もあると思われるが。
- ・行政は「困っている」前提で関わろうとしてしまう、その部分で違うかも。
- ・関係性を築いてやり取りできるまでには時間がかかる。年齢の近い若い人が関わっていく等、グリ下の支援に携わるプレイヤーの広げ方は重要。

【議題3】その他

事務局より次回日程調整状況の報告及び新年度へ向けた構成員名簿整理に関する情報提供。

座長閉会あいさつ